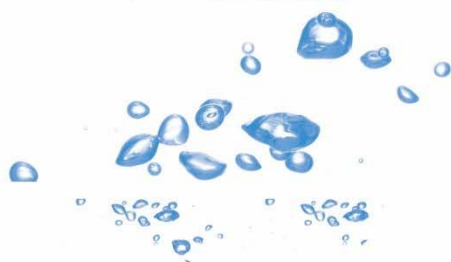


伊東市水道ビジョン 概要版

～いつまでも 安心で おいしい水を～



令和2年11月



静岡県 伊東市 水道課

1 水道ビジョンについて

「伊東市水道ビジョン」は、社会動向、国の方針、市民意見などを参考に、本市の「第四次伊東市総合計画」、平成 30 年度に見直した水道事業基本計画および厚生労働省「新水道ビジョン」の方針に沿い、策定します。

策定に当たっては、現場主義に基づいた市民本位の目的指向型行政運営を実現するためのシステムである「ＩＴＯシステム」と連携を図り、平成 26 年 3 月に策定した「伊東市水道ビジョン」の理念・目標に基づいて設定された各施策について、その進捗状況の確認を行うことにより、水道課では適切に事業を推進します。

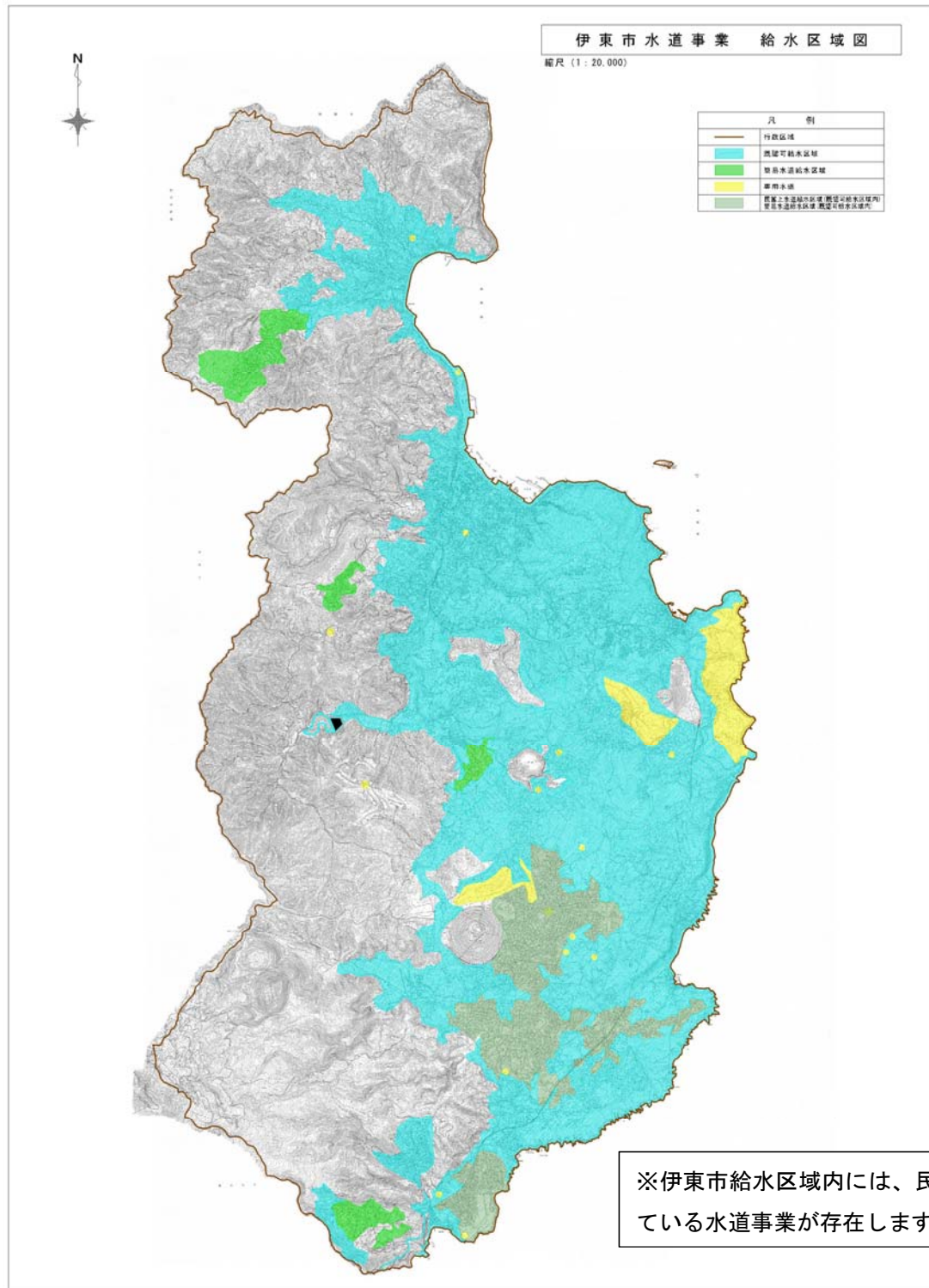


水道ビジョンの位置づけイメージ

2 水道事業の現状と課題

1) 給水区域

伊東市は、観光保養地として発展してきたこともあり、伊東市水道事業のほかに、別荘分譲地や保養所を中心として、民間の事業体が運営する上水道が2事業、簡易水道が6事業、専用水道が19事業と、多くの水道事業が存在し、全国的にみても特殊な状況となっています。



給水区域図

2) 水源

伊東市水道事業では、現在 8 か所の湧水、20 か所の井戸のほか、奥野ダムのダム水と伊東大川の表流水を水源として使用しています。

湧水の湧出量が豊富なため、現在は主に湧水及び井戸水の地下水源から取水し、夏季や年末年始の繁忙期に地下水ではまかなえない水量を、奥野ダムや伊東大川の表流水から取水しています。

しかし、南部地区には表流水を送水する施設が整備されていないため、渇水等で地下水の取水量が不足した場合には、安定した供給ができなくなる心配があります。



奥野ダム

3) 取水施設

取水施設は 30 か所あり、水源は井戸や湧水のため浄水処理は塩素注入のみとなっています。ただし、表流水を水源とする大川浄水場は急速ろ過方式により浄水処理を行っています。

また、岡六月窪浄水場と宇佐美西平浄水場はクリプトスポリジウム対策として紫外線処理設備を導入しています。

※クリプトスポリジウムは塩素に強い耐性がある原生動物の一種で、原水で水質検査を実施し、検出された場合は対策を行う必要があります。



岡六月窪浄水場の紫外線処理設備

4) 送配水施設

伊東市ではポンプ場が 29 か所、配水池が 71 か所あります。施設は 1960 年代に造られた施設もあり、老朽化が進んでいます。

5) 管路

管路施設は全延長 527km であり、送配水施設同様に老朽化が進んでいます。

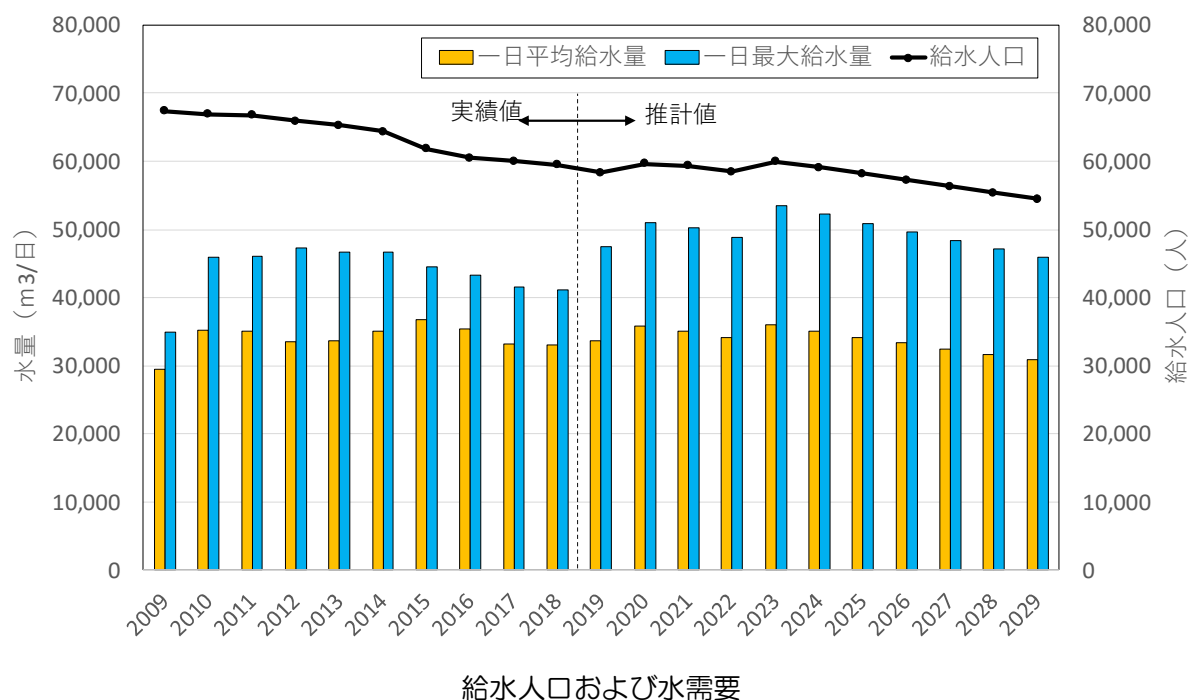


管路工事の様子

3 将来の事業環境

給水人口の実績は、減少傾向を示しており、近年は約 6 万人程度となっています。国の人口推計においても今後しばらくは同様の傾向が続くものと予測されています。ただし、本市上水道事業では、今後 10 年間で複数の民営水道事業区域との統合を計画していることから、しばらくは給水人口が微増し、その後、行政区域内人口の減少に伴い目標年度である 2029 年度では現在より約 5,000 人の減少が予想されます。

一方、一日平均給水量および一日最大給水量の実績値は、過去 10 年間増減を繰り返しています。将来的には、給水人口の微増から減少する傾向と同様に推移するものと予想されます。



4 将来像と実現方策

1) 基本理念

当初水道ビジョン策定以後、全国の水道事業を取り巻く状況は、予想を上回る速さで変化し、少子高齢社会が進んでいる影響や、生活用器具の節水機能の向上などを要因として水需要の減少が著しく、収入の根幹をなす水道料金が大きく減少しています。

それに対し水道施設においては、更新需要の増大や耐震化の早期実施など、更新・維持管理に係る経費は増加傾向にあります。しかしながら、本市の水道事業として、そのような状況の変化にも柔軟に対応し、常に安全でおいしい水を市民に安定して供給しなければなりません。

水道は、市民にとって日常生活はもとより、災害時のライフラインであり、都市活動を支える基本的な資源として、その重要性は改めて認識されており、環境への取り組みや情報公開など、各課題への対応も求められています。

水道事業は、多大な投資を必要とする施設の改良・更新や、合理的な経営について、計画的に対応し、将来にわたり安定して水を供給する必要があります。旧水道ビジョンにおいては、将来にわたってライフラインとしての水道を持続していくため、設定した「目指すべき将来像」を再認識して、その実現に向け努力してきました。

今後は、施設更新・災害対策が必要となり継続的に設備投資が必要となります。一方で水需要の低下により収入が減少する中で、運営基盤の強化に努め、料金水準を保ちながら、いつまでも住民に喜ばれる水道を目指すために「いつまでも 安心で おいしい水を」を基本理念として引き続き掲げ、水道事業に取り組んでいきます。

伊東市水道事業の基本理念



いつまでも 安心で おいしい水を

2)理想像

厚生労働省の新水道ビジョンでは、「時代や環境の変化に的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道」を実現するために、水道水の安全の確保を「安全」、確実な給水の確保を「強靱」、供給体制の持続性の確保を「持続」とした3つの観点を示しています。この3つの観点から実現方策を策定していく必要があります。

伊東市水道事業においては、厚生労働省の新水道ビジョンを踏まえ、3つの観点毎に基本目標を設定しました。



理想像と基本理念

「安全」：安全・安心なおいしい水を安定的に供給

市民が水道に最も望む、事業者の重要な責務は安全性です。いつまでも安全でおいしい水を供給できるよう、水源から蛇口までの水質管理を徹底し、良質な水づくりに努めます。

「強靱」：災害時においても住民の生活を守る水道サービスの構築

水道施設は、浄水場、送配水施設や管路を始め多くの施設を必要とします。その施設が効果的に機能を発揮できるように、計画的に施設更新を行います。また、災害時においても市民のライフラインとして、給水できるように耐震化事業を進めます。

「持続」：いつまでも住民に喜ばれる健全な水道事業経営の持続

多大な投資を必要とする施設の改良・更新や、合理的な経営について、計画的に対応し、将来にわたり安定して水を供給する必要があります。施設更新・災害対策には継続的な投資が必要となります。一方で水需要の低下により収入が減少する中で、運営基盤の強化に努め、料金水準を保ちながら、いつまでも住民に喜ばれる水道事業経営に努めます。

3)目標設定

旧水道ビジョンの施策内容を踏まえ、3つの観点から以下に示す目標を設定しました。

目標設定

「安全」：安全・安心なおいしい水を安定的に供給

項目	内容
水質管理体制の充実	塩素注入量低減などによるカルキ臭の解消
	主要水源における濁度計の整備
	水質検査計画の充実
高度な浄水処理方法の検討	高度浄水処理施設の導入検討
セキュリティ対策の充実	水源等の防犯設備の充実
鉛製給水管改良の推進	公道内にある鉛製給水管の解消
貯水槽水道の適正管理指導	貯水槽の管理者に対して管理状況調査の実施
水源の周辺環境の保全	伊東市水道水源保護条例の適正な執行
	水源周辺の森林整備

「強靱」：災害時においても住民の生活を守る水道サービスの構築

項目	内容
水道施設・管路の整備、更新、耐震化	浄水施設、送水施設及び配水施設の耐震化
	機械設備及び計装設備の整備、更新
	老朽管路の更新等を推進し、併せて管路耐震化
送・配水管の計画的整備	伊東市南部地域への安定した給水の確保
停電対策の推進	配水系の一部を見直し、自然流下系に変更 施設整備による停電・雷害対策の推進
危機管理体制の強化	非常用給水設備を計画的に整備
	水道危機管理マニュアルの見直し
水道管路情報の整備	使用水量情報、配水管路情報を活用し、管網解析を実施

「持続」：いつまでも住民に喜ばれる健全な水道事業経営の持続

項目	内容
継続的な経営改革と簡素で効率的な執行体制の構築	経営の効率化、経費削減
	料金体系の検討
	民間委託等の推進
	組織・執行体制の見直し
人材の育成と技術の継承	研修の推進
給水区域内水道未使用者の解消	管網整備を推進し、水道未使用者を順次解消
配水区域の見直し	随時配水区域の見直し
お客様の利便性の向上	様々なサービスを検討
広報広聴活動の充実	積極的な情報提供と水道水のPR活動の推進
民営水道の統合の推進	民営水道の統合の推進
環境に配慮した事業の推進	太陽光発電の導入検討
	配水系統統合による送水方式の変更
	建設副産物の有効利用

5 事業計画

伊東市水道ビジョンにおける、今後 10 年間の事業計画を以下に示します。

今後、水需要の低下による財源の減少を考慮し、重要な整備事業を優先的に実施します。事業計画では、社会情勢や上位計画との整合を考慮し、運営基盤の強化に努め、料金水準を保ちながら、必要に応じて整備事業の内容をその都度見直して計画を推進していきます。

事業計画

事業内容	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年	令和9年 2027年	令和10年 2028年	令和11年 2029年
新設配水池建設工事										
配水池更新工事										
水源整備										
配水池耐震補強工事										
配水池、ポンプ場等の 各種設備更新・修繕工事										
重要給水施設 管路耐震化工事										
老朽管更新・耐震化工事										
各種検討(経営、危機管理 対策、お客様サービス等)										

6 フォローアップ

伊東市水道事業は本ビジョンに示した施策を実施する体制の構築に努めます。

施策目標を達成するためには、中長期的にも安定した経営状況を維持していく必要があり、施策の進捗状況を管理することが重要です。そのため、定期的に進捗状況を確認し、事業の実施に障害が生じている場合には、その理由を分析するとともに、事業や予算の見直しを行います。これらは、PDCA サイクルによって管理し、継続的な改善を図っていきます。

特に収支計画は、中長期的な視点から 10 年程度の財政収支見通しを示したものですが、社会・経済情勢の変化を踏まえ、概ね 5 年程度の期間で適切に見直します。

市民の皆様には、定期的にホームページや広報誌に情報公開し、皆様のニーズを把握し、適宜計画の見直しを行い、水道サービスの向上を図ります。



PDCA サイクルによるフォローアップ

伊東市水道ビジョン概要版

発 行 日 /令和 2 年 11 月

編 集 ・ 発 行 /伊東市上下水道部水道課

〒414-8555 静岡県伊東市大原二丁目 1 番 1 号

TEL:0557-32-1831

